

カネカの社会的責任を問う

～カネミ油症救済法から10年～

10年目の課題を被害者と考える

集会の
ご案内

カネミ油症は1968年、兵庫県高砂で製造されたPCB(ダイオキシン類)が米ぬか油に混入し、西日本一帯でそれを食した人に深刻な健康被害が発生した食中毒公害事件です。高度成長期にPCBによる環境被害を受けた「ともに市民の会」と製造者責任を追及する集会を開催して今年で6年になります。

高砂、長崎、福岡、東京など被害者が多い地区をオンラインで繋ぎ、生の声を伝えます。

2022 **11月12日(土) 13:30～16:00**

場 所 ユーアイ帆っとセンター2F

〒676-0023 高砂市高砂町松波町440番地の35

東京、福岡、五島、長崎などの会場とオンライン(ZOOM)で結びます。
高砂周辺の皆様は、高砂集会にご参集ください。(参加費 500円)



54年前に起こったカネミ油症事件、事件発生当時、孫やひ孫の世代にまで被害が及ぶことは誰が想像できたでしょうか?半世紀を超えて今やっと、国は世代を超えて広がる被害の実態を調査し始めました。とはいえ、カネミ油症被害者救済法が成立して10年目となりますが、治療法も認定基準もなんら進展のない10年でした。

この10年を被害者は何を思い、何を考え、何を望んだのでしょうか?そんな被害者の声を中心にカネカ社員や高砂市民に伝えます。

化学物質の被害は、油症被害者の問題だけではなく、私にもあなたにも起こりうる問題であると考え、ともに集い被害者から学び考えあっていきましょう。

「この世にPCBがなかったら、カネカがPCBを製造していなかったら、私の人生は狂っていなかった～～～高砂集会被害者の声から」

共催： カネミ油症被害者全国連絡会
カネミ油症被害者支援センター (YSC)
カネミ油症被害者ととともに行動する高砂市民の会
(通称 ともに市民の会)

協賛： 生活協同組合コープ自然派兵庫

後日、YOUTUBEにて報告予定です。(予定)
YSC.HP <https://yusho-support.com>

問合せ：カネミ油症被害者支援センター事務局

伊勢 090 9321 8607 FAX03-3403-4021 i-ise@ceres.dti.ne.jp

